

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	通所支援事業所 チェリタン		
○保護者評価実施期間	2026年 1月16日		2026年 2月13日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	37名	(回答者数) 22名
○従業員評価実施期間	2026年 2月18日		2026年 3月13日
○従業員評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月24日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者のお迎え時、特にお子様へ関わった職員が普段と違う様子や細かな変化などを報告し共有することで、保護者の不安や困り事の聞き取りしやすい環境を作り、安心感と信頼関係の構築に繋げている。 (児童発達支援・放課後等デイサービス共通)	・お迎え時には、保育士や看護師がお子様の利用中の様子や体調面で気になった事などを丁寧にお伝えする。 ・水戸特別支援学校や相談支援専門員と必要に応じて迅速に連絡を取り合い、お子様の様子などについて情報の共有を図っている。	次年度以降も、お子様の様子などを保護者に丁寧にお伝えしていくと共に、お子様を取り巻く関係機関及び関係職員と綿密な連携を図り、様子などについて情報の共有、相互理解に努め、地域移行など必要な支援を提供していく。
2			

3			
---	--	--	--

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	児童発達支援及び放課後等デイサービスを利用しているお子様の兄弟児同士が交流できる機会が少ない。 (児童発達支援・放課後等デイサービス共通)	職員体制や企画準備期間等を鑑み、兄弟児が参加できるようなイベントの立案が難しい。	<ul style="list-style-type: none"> 保護者を対象に「どのような事をしたいか」などをモニタリングや送迎時にお聞きし、ニーズを把握する。 ニーズ把握後、企画に対し早期から準備に入り、安全に楽しい企画が実施できるよう、動き出しを早く行う。
2	放課後でのご利用ゆえ、集団での活動を計画するも実施に至らない事がある。 (放課後等デイサービス)	<ul style="list-style-type: none"> 利用時のお子様の体調面を考慮し、休息の時間として対応をしている事がある。 1つのスペースで活動する事が多い為、他児の様子(発作後や疲労による休息等)を配慮し、集団での活動から個別活動へ内容を変更せざるを得ない状況がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 毎朝の職員ミーティング時に本日の活動内容を職員間で周知し、お子様が安全に楽しく活動に参加できるよう、業務調整や環境調整などを行っていく。 公共施設や機関などと連携し、地域との関係を深めながらお子様同士が交流を図れるような行事や活動を計画し実行に移していく。
3	経年劣化により、事業所内外のメンテナンスが必要な箇所がある。 (児童発達支援・放課後等デイサービス共通)	事業所が築10年を超えたことにより、湿気や日照、温度等により経年劣化が認められる。	関係部署に現状報告し、必要性と判断されれば補修や修繕を計画的に実施していく。また、日常的な清掃も心掛ける。